

！本試題分文字、語彙、文法、読解四大項目，總計 250 分，請依序作答。

一、[文字]

問題 1 次の文の _____ のことばを漢字 (と ひらがな) で書きなさい。

(2 × 25 = 50)

- (1) くるまで どこか とおくへ いきたい。
- (2) おかあさんは おげんきですか。
- (3) 父は ろくじに かいしゃから かえります。
- (4) この まちには ふるい おてらが たくさん ある。
- (5) つめたい ジュースが のみたい。
- (6) ふゆに なると とても さむい。
- (7) しょくじの よういは できましたか。
- (8) わたしの いえの ちかくに こうえんが あります。
- (9) これから デパートへ ふくを かいに いきます。
- (10) さくぶんは この かみに かいてください。

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20
21	22	23	24	25

(背面仍有題目，請繼續作答)

二、【語彙】

問題1 次の文の()の中に何を入れますか。それぞれのA~Dの中から、いちばんいいもの一つえらびなさい。(5×10=50)

- (1) 自分のふくは自分で()します。
A りょうり B せんたく C そうじ D あらい
- (2) あの赤い()をかぶっている人を知っていますか。
A めがね B ふく C ぼうし D くつ
- (3) あついとき、()をあびるとサッパリします。
A シャンプー B シャワー C ウォーター D バス
- (4) このバスはいつも()いますねえ。
A とって B おおく C のって D こんで
- (5) おなかがすいているときは、なにを()もおいしい。
A 食べて B とって C 見て D 聞いて
- (6) 今日は()のであそびに行けません。
A おもい B いそがしい C くるしい D おもしろい
- (7) けんこうとお金とどちらが()ですか。
A たいせつ B ゆうめい C しんせつ D かんせつ
- (8) あさおきて、()新聞を読みます。
A さいごに B あと C さき D まず
- (9) あついですねえ。のどが()にかわきました。
A クルクル B キリキリ C コロコロ D カラカラ
- (10) 東京しゅっぱつは九時だから、大阪()は十二時だ。
A とうちゃく B とうこう C とうじょう D とうさん

三. [文法]

問題1 次の文の()の中に何を入れますか。それぞれのA~Dの中から、いちばんいいもの一つを選びなさい。
(5×10=50)

- (1) あのおじいさんは耳がわるいので、よく()のです。
A 聞けない B 聞きません C 聞かない D 聞こえない
- (2) 山口さんはもうすぐここへ()はずです。
A つきます B つく C ついている D つ
- (3) 今日はカバンをもって()でした。
A 来ません B おきません C ありません D みません
- (4) しゅっぱつは九時ですから、八時半()ここへ来てください。
A より B から C までに D まで
- (5) 花子さんは、たろうさんよりも、じろうさんが()らしい。
A すきです B すきだ C すきな D すき
- (6) 父はまもなくそちらへ()。
A おまいりします B いらっしゃい
C まいります D いらっしゃいます
- (7) ここへ車を()いけません。
A とめては B とまっては C とめるは D とまるは
- (8) きのは、かぜをひいておりました。()どこへも行きませんでした。
A たとえ B それで C でも D しかし
- (9) コーヒーにしますか。()こうちやにしますか。
A ところが B そして C しかし D それとも
- (10) 二時間()まっていたんですが、だれも来ませんでした。
A まで B およそ C くらい D あいだ

(背面仍有題目,請繼續作答)

四. 【読解】

次の文を読んで、あとのしつもんにこたえなさい。こたえは、A~Dの中からいちばんいいものを一つえらびなさい。

(10×10=100)

日本は、春・夏・秋・冬の四季の区別がはっきりしています。

春になるとさくらや多くの花がさいて美しく、夏は暑く、秋は木の葉がまっ赤に色づいて、冬には野や山が雪におおわれて……と自然の変化とともに季節の変化を楽しむことができます。

また季節ごとにおいしい食べ物があって、その季節のそれぞれに、好みのおいしいものを食べるのも楽しみです。たとえば春のたけのこ、夏のすいか、秋にはくりやなしなど、冬のみかん、といったぐあいに、一年中おいしいものを楽しむことができます。

ところが最近温室さいばいとか言って、季節をずらせて、野菜やくだものをとることができるようになりました。少し高くなりますが、冬でもすいかを食べることができるのです。すいかが好きな人にとってはありがたいことかもしれませんが、なんだか季節がなくなったようで、さびしい気がします。夏の暑い時に、冷たいすいかを食べるからおいしいのであって、こたつに入りながらすいかを食べるのは、さあどうでしょうか。

それにこのごろは、どこの家でもストーブや電気なんかのたんぼうせつびがよくなり、冬でも家の中にいるかぎり春のようなあたたかさですし、夏でもクーラーを入れておけば秋のような涼しさです。

むかしは自然のうつり変わりとともに、わたしたちの服そうや食べ物も変わり、来るべき季節の準備をして楽しんだものですが、今では一年中変わらぬ部屋の中で、好きなくだものでも食べるのが楽しみになったのでしょうか。

(しつもん)

- () (1) 日本の四季は、それぞれに特ちょうがありますか。
- A 季節がずれるのでわからない。 B はっきりした特ちょうがある。
C だんだんなくなってきた。 D むかしはあったが、今はない。
- () (2) 季節のそれぞれにおいしいものを食べることができますか。
- A 高くなったので食べられない。 B いつでも同じものがある。
C いつでも好きなものが食べられる。 D 季節ごとにいろいろ食べられる。

- () (3) 冬でもすいかを食べることができますか。
A 少し高くなるができる。 B 夏に食べるのがおいしい。
C 季節はずれで食べられない。 D 高いので食べられない。
- () (4) この人にとって、どんなことがさびしいのですか。
A 冬になるとすいかが高くなること。 B 季節がなくなったように感じる事。
C 季節がずれること。 D 冬でもすいかが食べられること。
- () (5) なぜ季節をずらすことができるのですか。
A いつでもおいしいものがあるから。 B だんほうせつびがあるから。
C 温室さいばいがかのうだから。 D 冬でもすいかが食べられるから。
- () (6) 冬にすいかを食べることについて、この人はどう考えていますか。
A 高くなるがしかたがない。 B 冬のすいかはとてもおいしい。
C さびしい感じがする。 D すいかが好きなので、ありがたい。
- () (7) 冬の日、部屋の中はどのようなようですか。
A 寒さを感じさせない。 B 夏のように暑い。
C 秋のように涼しい。 D たくさんの花がさいている。
- () (8) むかしの人は、なぜ季節の変化とともに服そうや食べ物を変えたのですか。
A 家の中にいても寒かったから。 B おいしいものが食べられなかったから。
C いつでもあたたかいから。 D 今のように便利なものがなかったから。
- () (9) なぜ一年中部屋の中は変わらないのですか。
A クーラーやだんほうせつびがあるから。 B 一年中おいしいものがあるから。
C 四季の区別がなくなったから。 D 冬でもすいかを食べているから。
- () (10) この人は、このようなじょうたいを、どう考えていますか。
A 楽しみがふえたと考えている。 B うれしいことだと思っている。
C ざんねんだと思っている。 D 好きな物が食べられるのでいい。